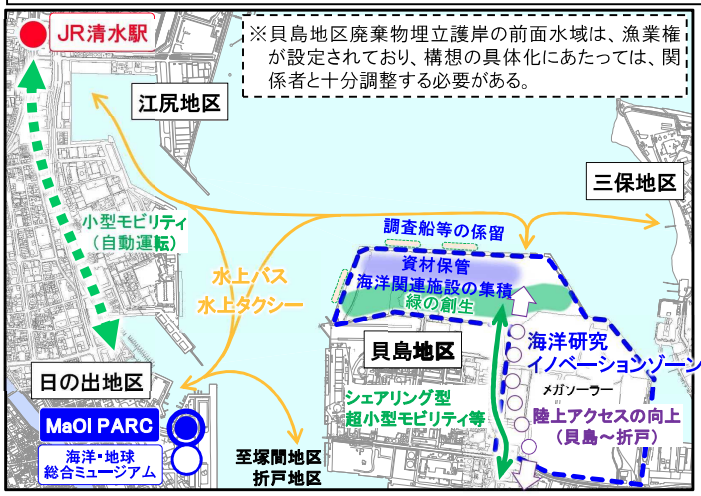
施策⑧-1 産学官が連携した海洋研究・開発拠点の形成

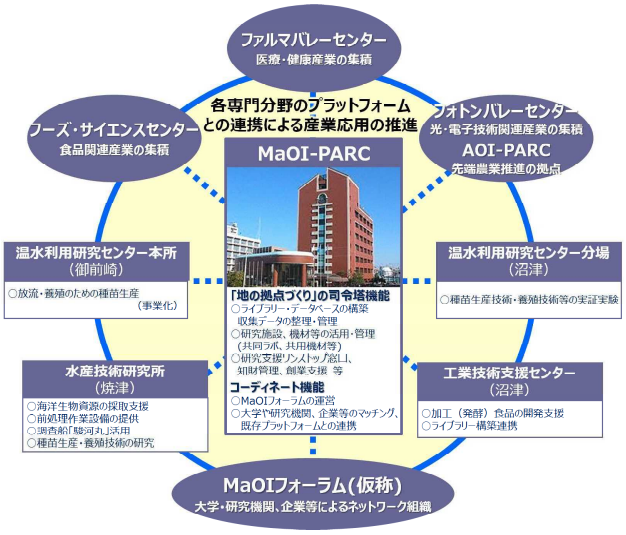
○埋立が完了する貝島地区は、海洋関連産業の集積を図り、海洋研究開発機構（JAMSTEC）の地球深部探査船「ちきゅう」等の研究船・探査船や作業船が長期係留可能な岸壁や緑と調和した施設用地（緑の創生）を整備する。
○日の出地区に設置するマリンバイオテクノロジー研究開発拠点（MaOI-PARC）を核として、周辺産業との融合によるベンチャービジネスの創出を目指す。



研究船・探査船のイメージ

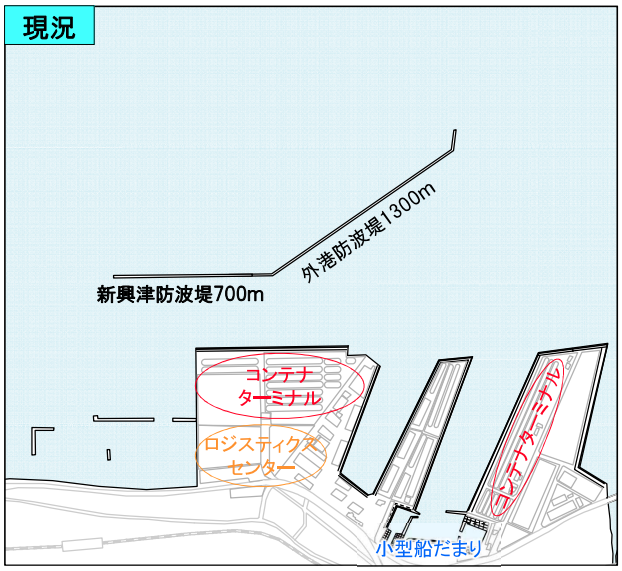
MaOI PARC（マリンオープンイノベーションパーク）

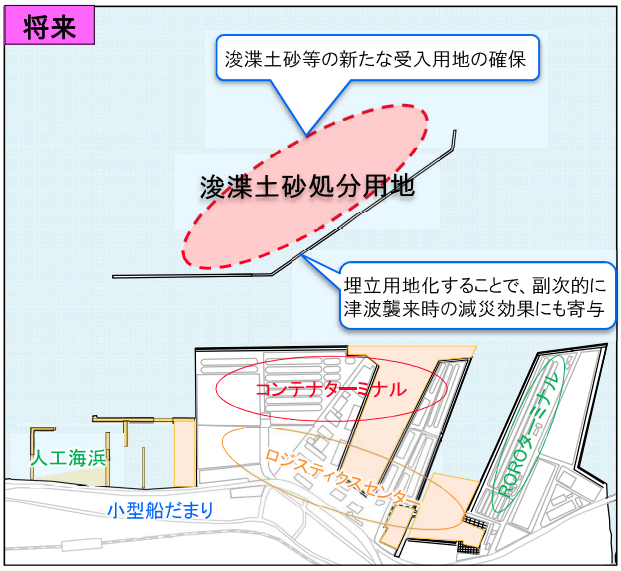
静岡県は、駿河湾等の特徴ある環境や、そこに生息する多様な海洋生物など魅力ある海洋資源を活用し、「マリンバイオテクノロジー」を核としたイノベーションを促進するため、プロジェクトの中核となる研究開発拠点として、大学、研究機関、企業等が活用できる共用ラボや、レンタルラボ等を備えた「マリンオープンイノベーションパーク」を日の出地区に整備する。



施策⑧-2 新たな浚渫土砂処分用地の確保

○港内で発生した浚渫土砂は、現在、貝島地区に埋立処分しているが、今後、10年以内に土砂で満杯となることが見込まれている。
○港湾機能を維持していくためには、代替となる浚渫土砂処分場の確保が急務であることから、外港防波堤外側の水域への処分場確保を検討する。
○なお、外港防波堤外側水域を埋め立てた場合、高波時の越波量の抑制による「港内静穏度の向上」とともに、津波に対して倒壊しにくい「粘り強い化」（津波来襲時の減災効果）が期待される。

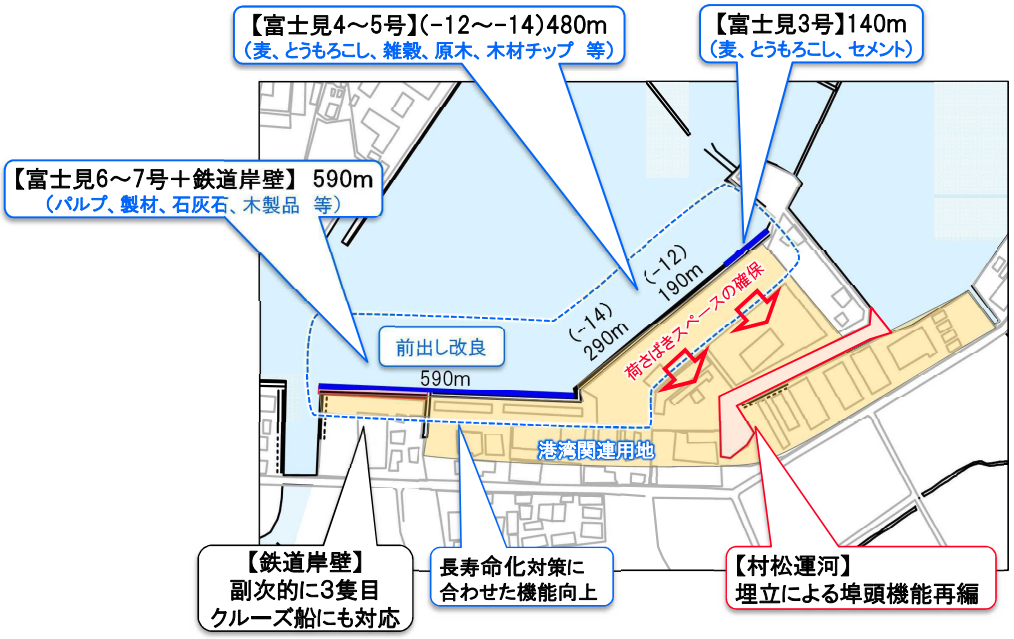




施策⑧-3 村松運河埋立による物流機能の再編

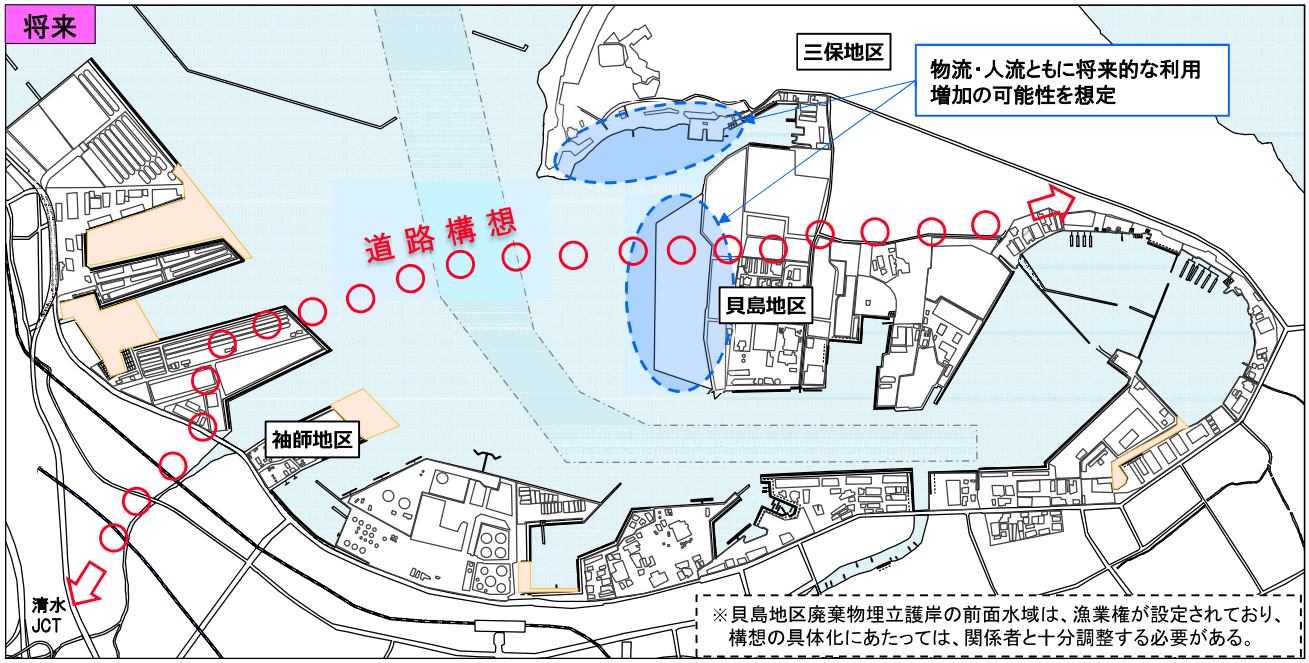
○富士見埠頭は、岸壁背後に上屋、穀物サイロ、チップヤード等が配置されており、荷さばきスペースが不足している。
○外内貿バルク貨物の富士見埠頭集約に伴い、取扱貨物の多様化に対応するため、村松運河の埋立てにより物流用地を確保することで、埠頭機能再編を促進する。

※実施にあたっては、超長期的な利用状況の変化も見据え慎重に行う



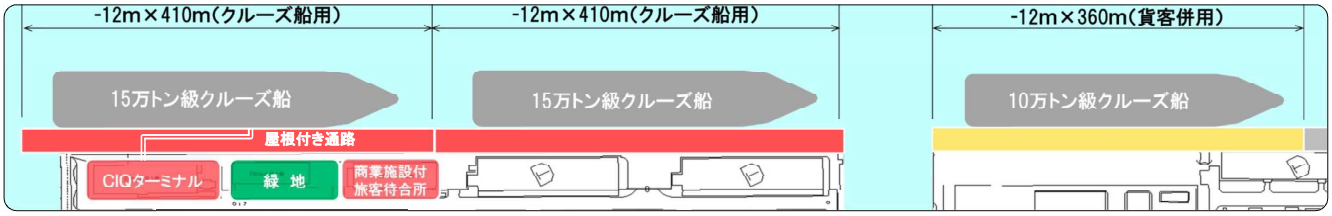
施策⑧-4 道路構想

○将来的に三保・貝島地区の利用が高まる可能性を視野に、袖師地区と貝島地区を接続する臨港道路の可能性を検討。



施策⑨-1　日の出ふ頭のクルーズ船受入対応施設の整備

○清水港は、2030年を目標として、連携する「ゲンティン香港が運営するクルーズラインの母港化」と「北東アジアクルーズの東日本における拠点化」を目指している。
○日の出埠頭は、「連携する船社のクルーズ船」と「その他の船社の船」が同時着岸可能な複数のクルーズ船用岸壁を整備するとともに、起終点港として必要なＣＩＱ機能などを有する「国際旅客船ターミナル」を整備する。



国際旅客船ターミナル整備(イメージ)

（出典：国土交通省港湾局「SMOOTH VOYAGE」資料を一部加工）

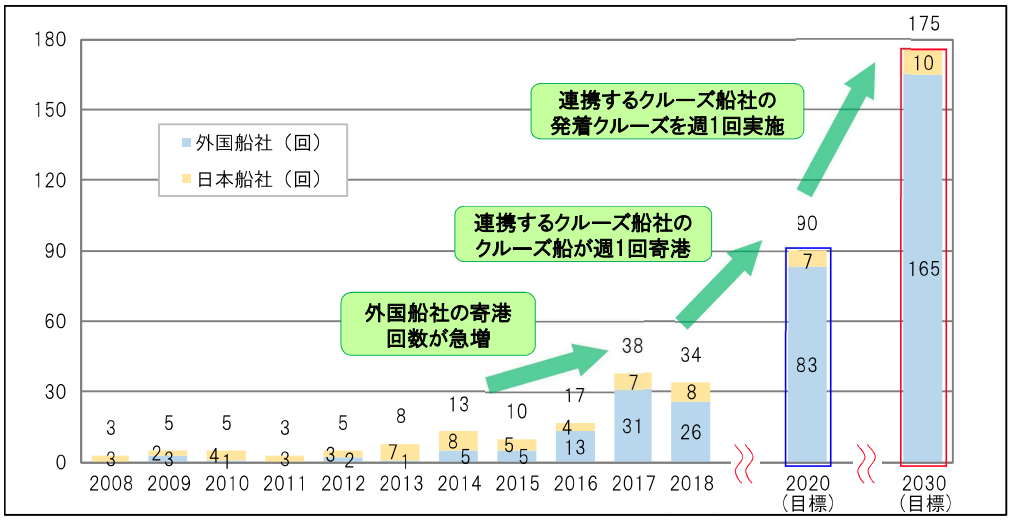
乗下船から寄港地観光を結ぶ円滑かつ快適な移動(イメージ)

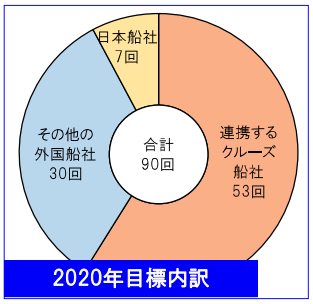
施策⑨-1　日の出ふ頭のクルーズ船受入対応施設の整備

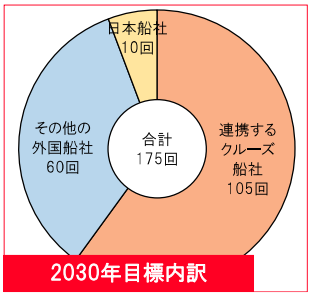
【参考】クルーズ船寄港回数の目標

○2020年の国際旅客船ターミナルの運用開始後、ゲンティン香港が運航するクルーズ船が週１回の寄港を計画している。
○目標年の2030年には、これに加え、週1回の清水港発着クルーズを実施する計画であるとともに、その他の船社についても、引き続き増加を見込む。

清水港のクルーズ船寄港回数（実績・目標）







※1 連携する船社については、ターミナルの運用開始後に中国発着クルーズにより週1回寄港し、さらに目標年次には清水港発着のクルーズ船が週1回実施される計画となっている。
※2 2018年は、連携する船社のクルーズ船が台風等の影響により1回となったものの、他の船社の寄港回数は順調に伸びている。

施策⑨-2 クルーズ関連産業の需要拡大

○県内ほか高速道路網で結ばれる関東甲信地方の観光資源を最大限に活かし、広範囲で体験型、滞在型の寄港地観光コースの造成や観光型MaaSの導入など、クルーズ旅客の多様なニーズに対応。
○地元業者の食材・日用品に関するクルーズ船社との商談を支援するなど、クルーズ関連産業を育成。

周辺観光

日本平夢テラス

久能山東照宮

三保松原

広域観光（山梨県）

昇仙峡
（昇仙峡観光協会HP）

ぶどう狩り
（甲府市観光協会HP）

観光型MaaSの実証実験（例：Izuko）

提案造成のイメージ

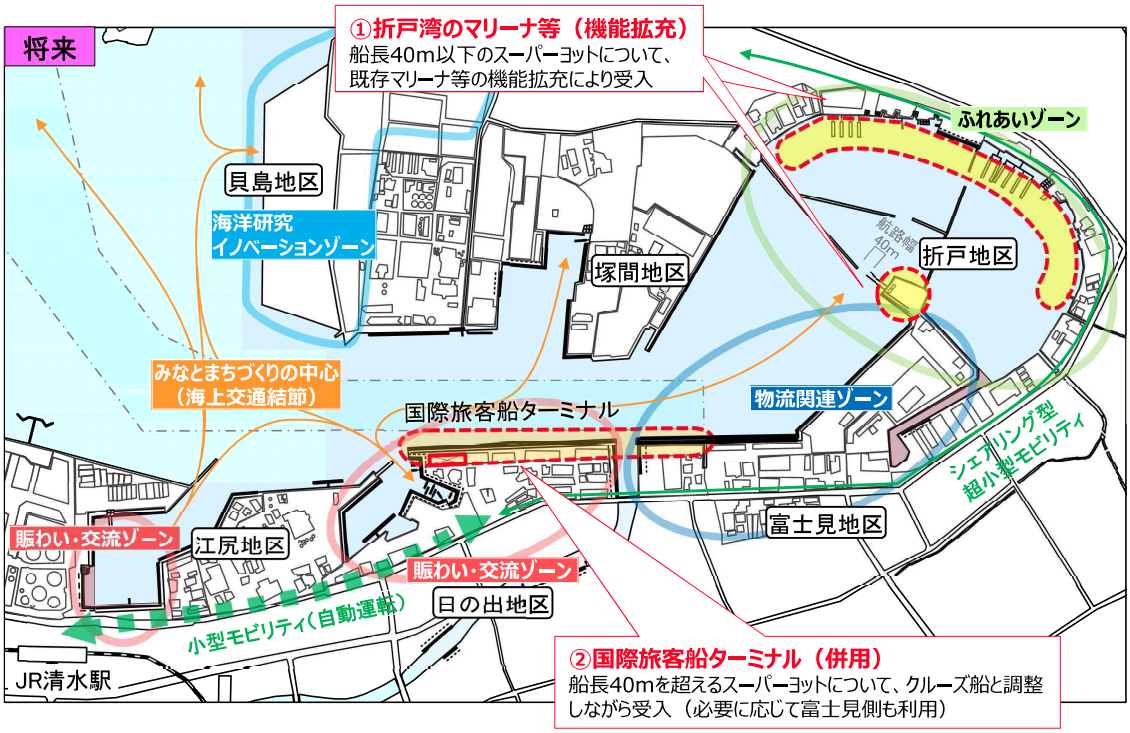
クルーズ船社との商談会の様子

新たな船内提供商品の造成
（抹茶アイス）

ファムトリップでの情報発信
（茶摘み体験）

施策⑩-1 スーパーヨット受入機能の確保

○賑わい拠点に隣接する日の出地区、折戸地区を候補地としてスーパーヨットの受け入れに必要なハード・ソフト面での整備検討を行い、スーパーヨットの受入拠点化を目指す。
○喫水や延長が大型のスーパーヨットは、クルーズ専用岸壁にて対応する。



スーパーヨットの受入に必要な設備

浮桟橋

係留ブイ

スーパーヨット拠点の主なアメニティ例

- 給油
- トイレ
- 給電
- Wi-fi
- 給水
- 買い物
- ごみ処理
- セキュリティ
- ヘリポート

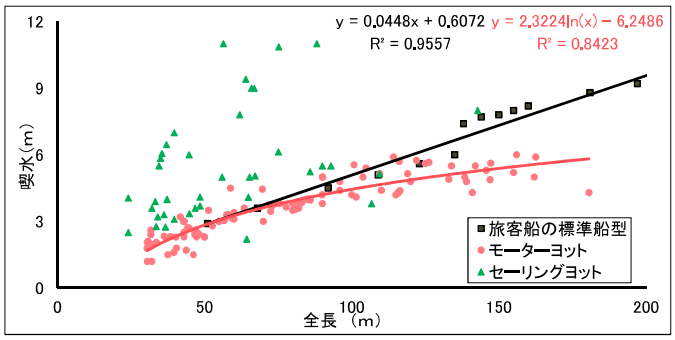
施策⑩-1 スーパーヨット受入機能の確保

【参考】スーパーヨットとマリーナ・コンプレックス

○スーパーヨットは、全長24m以上のプレジャーボート※であり、超富裕層が個人所有しているものが多い。
○スーパーヨット（モーターヨットタイプ）の喫水は、一般的に旅客船と比較して浅く、世界最大のスーパーヨット「Azzam（総トン数13,136GT、全長180m）」の喫水は4.3mである。（全長50m級スーパーヨットの喫水：平均2.8m）
○世界のスーパーヨット拠点の特徴としては、都市へのアクセス性が良く、マリーナを核としたレクリエーション施設・ショッピングモール・居住施設などがそろうマリンリゾートの「マリーナ・コンプレックス」が形成されている。

※ ICOMIA（国際舟艇工業会）によると全長24m～50mの規模をスーパーヨット、全長50m 以上をメガヨットと呼ぶが、長期構想では２４m以上のプレジャーボートをスーパーヨットと総称する。

スーパーヨットの全長と喫水の関係



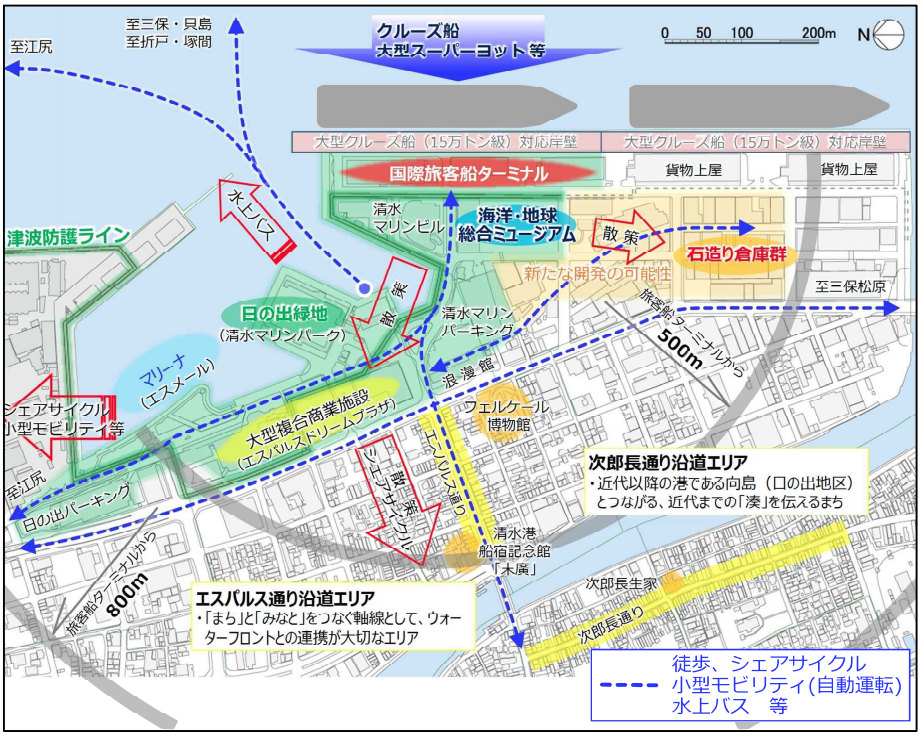
資料：県内港湾におけるスーパーヨット寄港可能性調査結果

マリーナコンプレックスのイメージ

スーパーヨットの受入イメージ

施策⑪-1 国際旅客船ターミナルを活用した交流・賑わいの創出（日の出地区）

○クルーズ船乗降客が、日の出緑地周辺に滞留、散策し、地域の人々と交流する空間づくりを目指す。
○防潮堤と一体となった緑地、静岡市による「海洋・地球総合ミュージアム」、民間による倉庫群のリノベーションなど官民一体となった交流空間づくりを進めるとともに、地域内移動サービスの向上させ、来訪者の地域内循環を生む。



海洋・地球総合ミュージアム

静岡市が建設を予定している総合ミュージアム。
“海洋科学を中心とした「つながり」により常に新鮮で魅力的な活動を創る”ことを活動理念として、駿河湾を中心とした水環境や地球に関する水族館・博物館のハイブリット展示を行う。

（出典）静岡市海洋文化拠点施設基本計画

石造り倉庫群

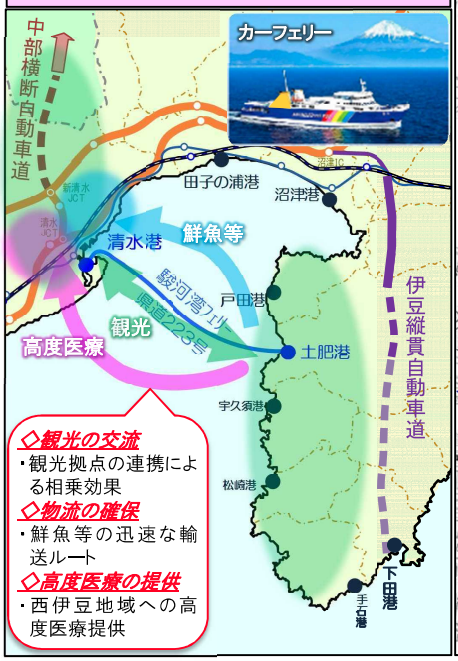
昭和初期に建てられた民間の石造り倉庫群。現在は、モルタルに覆われているものの、瓦屋根が当時の趣きを残す。
今後、国際旅客船ターミナル等公共投資を契機として、商業施設等への利用転換を促し、平時においても人々が集まる空間を創出する。

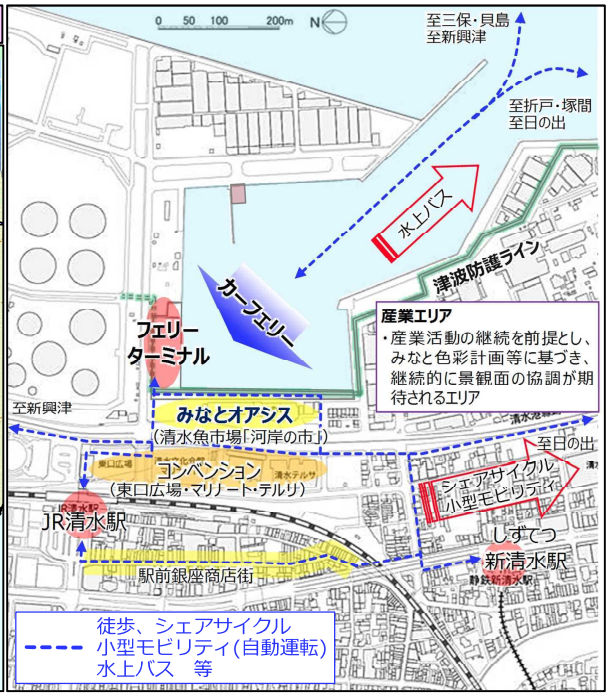
（出典）静岡市海洋文化拠点施設基本計画

施策⑪-2 “食の拠点”を活用した交流・賑わいの創出（江尻地区）

○ＪＲ清水駅と隣接する江尻地区へ駿河湾フェリーを移転することにより、乗降客の利便性を向上させるとともに、西伊豆地域との観光・産業・医療等での連携を強化する。
○“みなとオアシス”の核施設である清水魚市場「河岸の市」を中心に、“食の拠点”として、交流・賑わい空間を創出するとともに、地域内移動サービスの向上させることで、来訪者の地域内循環を生む。

フェリーによる伊豆半島の観光・医療・産業との連携





みなとオアシス「まぐろのまち清水」

みなとオアシスの核施設である清水魚市場「河岸の市」は、冷凍マグロ等の販売や鮮魚を味わうことができる観光スポットであり、年間100万人以上の観光客が来訪する。
清水港は、冷凍マグロ取扱量日本一を誇り、また水産物の流通拠点であることから、「河岸の市」は、多彩な食を提供する「食の拠点」となっている。

清水魚市場「河岸の市」

防潮堤整備による水際の将来イメージ

Port of Shimizu
愛され、選ばれる港　The Convenient, Trusted Choice

施策⑫-1 水面を活用したリゾートの形成（折戸地区）

○護岸の防災対策やスーパーヨットの受入が可能となるマリーナ機能の拡充を行うとともに、折戸湾の水質改善に取り組む（施策⑭-１参照）ことで、気軽に海とふれあうことができる親水空間を創出する。
○アクセスの向上や「水面の利活用と一体となった背後地の民間開発」を促し、人々が集まる良質なリゾートを形成する。

可動橋（イメージ）
（St Katharine Docks）

海上レストラン（イメージ）
（天王洲運河）

水上コテージ（イメージ）
（SALT&WATER HPより）

※マリーナ機能の拡充にあたっては、船舶航行安全の観点に十分留意する。
※新設道路のルートについては、今後関係者と調整しながら検討する。

マリーナ
（富士山羽衣マリーナ）

遊歩道（イメージ）
（例：ノルディックウォーキング）
www.miyazaki-city.tourism.or.jp

親水性のある海辺
（イメージ）
（米 モントレー）

Port of Shimizu
愛され、選ばれる港　The Convenient, Trusted Choice